

I-LISS Japan のこれから

前川 和子

(I-LISS Japan 副会長)

2018 年 3 月に、LISSASPAC (Library and Information Science Society for Asia and the Pacific : アジア太平洋図書館情報学会) は I-LISS (International Library and Information Science Society : 国際図書館情報学会) へ改編の合意を形成しました。事務局はインドにありますので、インド政府への手続を始めました。同時に会長志保田務 (桃山学院大学名誉教授、Ph.D.) を中心に日本支部も変更へと動きました。そして、2018 年 11 月 10 日 (土) に LISSASPAC 総会が開かれ、提案によりその場で I-LISS Japan への組織替えと名称変更が承認されました。三役もそのまま引き継がれました。支部会長に志保田務、副会長に前川和子 (元・大手前大学教授)、事務局長に中村恵信 (神戸松蔭女子学院大学教授) です。

S.R. ランガナタンに引き寄せられ、2016 年 6 月インドの SRM 大学 (チェンナイ) を会場とした国際会合 (ICIDL) に参加する機会を得ました。志保田務博士と故三宅桃山学院大学教授とご一緒でした。会場はインドの会員の皆さんの熱気で溢れていました。会長は呉東根博士 (啓明大学校教授、韓国図書館情報学会会長) で、韓国の会員の方たちも元気いっぱいでした。2 度目は東義大学校 (釜山) で行われた大会に参加しました。カザフスタンの若い女性司書にお会いし親しく交流しました。その時に、アジアの図書館と図書館情報学は、いまどうなっているのかと深く思いを馳せました。志保田博士のおかげで、アジアを意識している自分を見出していました。3 度目は 2018 年にバンコクを訪れました。その訪問の後、日本はアジアとどのように図書館・図書館情報学の分野で交流してきたのか。その問題意識を追求するため、志保田博士の研究成果「第 2 次世界大戦後のアジアの図書館研究交流史：インド、韓国を軸とした瞥見」と出会い、それを基盤とした研究を行い、日本図書館研究会研究大会でグループ発表として実らせました。

まだ始まったばかりの歩みですが、以下のように確かな歩みとなっています。

2016 年 日本支部 : Japan Chapter を 12 名で設立し本部 SRM 大学へ届ける

2017 年 8 月 12 日 支部設立のセレモニーを大阪府立中之島図書館別館で開催

この会合の予稿集を兼ね、Journal of LISSASPAC JAPAN Vol.1, No.1 を刊行。

2018 年 2 月 同巻 No.2 を発行。

2018 年 11 月 10 日 Journal of I-LISS JAPAN Vol.1, No.1 を発行

アジア・太平洋の図書館情報学研究者から始まったこの国際交流団体は、名称を国際に変更してもアジアの熱気をもって世界全域と交流するというスタンスを持続けると考えられます。そして日本のこの学術雑誌も、世界への窓口としての役割を果たすことと信じています。